



あいさつする一条会長

結成後、皆さんのご協力で事業が進んでいます。各部会長さんを中心して企画を出し合い、意義ある企画を立てています。町の歴史にも関心を持たれる方も多く、注目が集中しています。また、尾瀬トレッキング、料理のかきあげづくり、婚活への取り組み、フォトコンテストなど、楽しみがいっぱいです。皆さんからの忌憚のないご意見をお待ちしています。

あいさつ

会長 一条 恒男

保原中央 自治振興会だより

● 総会開催 5月16日(水)

第3号

30.6.28 発行

発行責任者
会長 一条恒男

保原中央交流館大会議室において代議委員会総会が行われました。平成29年度事業報告・決算報告、続いて平成30年度の事業計画・予算案について審議、そして役員改選があり承認され新スタートをきました。

平成30年度事業計画

- 各種会議開催（随時）
- 総会、三役会、役員会、委員会、各専門部会等の開催
- 各部会の主な事業計画

- 地域歴史探訪
- 婚活世話役会の開催
- 水中ウォーキング
- フォトコンテスト
- 安達太良トレッキング
- フリーマーケット
- 尾瀬トレッキング
- 防犯講習会の開催
- おもしろ科学実験
- 街中ダッシュ
- スキーリン
- 講演会の開催
- 広報誌の発行

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年 | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 9 | 9 | 8 | 8 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 回 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 |



熱心に討議する皆様方

<収入>		10,383 千円
●交付金	市より活動交付金	10,354 千円
<支出>		10,383 千円
●自主財源	繰越金等	29 千円
●報償等		5,388 千円
●旅費交通費		110 千円
●会議費		192 千円
●消耗品費		524 千円
●材料費		250 千円
●印刷製本費		920 千円
●修繕費		17 千円
●通信費		510 千円
●手数料		24 千円
●保険料		90 千円
●委託料		200 千円
●使用料賃借料		1,424 千円
●備品購入費		734 千円

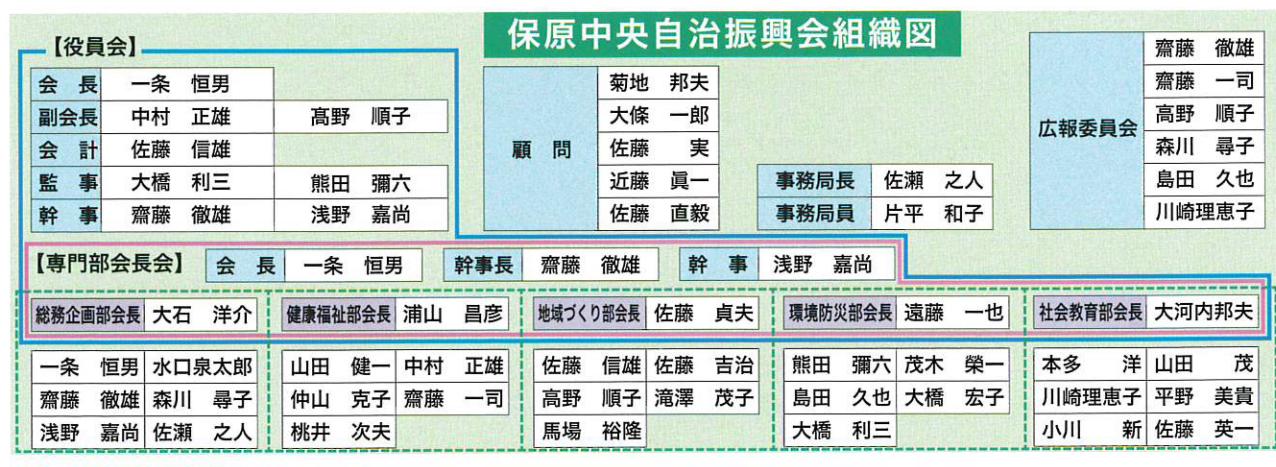
平成30年度予算案

- 古川の環境改善
- ホームページの運用
- 花いっぱい運動・花壇の整備
- 防災訓練の実施
- 自主防災組織の結成
- 市民農場
- 健康料理教室
- 人づくり研修会

年4回 通年 通年 通年

年5回 通年 通年 通年

年3回 通年 通年 通年



ほばらまちづくり計画に係るアンケート調査から その2

この調査は、保原小学校区の各町内会や各団体の方々を対象に平成29年11月22日現在で行われたものです。540名の方に調査依頼をし、回答は273名(回収率51.5%)でした。

原文はホームページに掲載しております。これらのアンケート結果や様々な意見を踏まえ、課題解決のための各種事業を展開してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

4. 保原中央交流館・市民センター・集会所などで、講演会や音楽鑑賞や作品展示などの文化活動を行うことを望みますか。(YESの方の意見)

- 市民センター内に音響設備をし、音楽鑑賞など出来る様にしてほしい。
- 子供たちが、地域の名人に学んだり、いろいろな体験ができるもの。
- 芸術性のあるものを希望。(子供が感じる!ことを大切に)
- 朝市、ガレージセール等、皆さん参加できる様なイベント。
- スポーツアスリートの講演会。
- 防災訓練、消火訓練。

5. 地域に伝わる小催事をどのように思いますか。(地域のお宮等で行う催事)

- 地域活性の為にも催事は必要だと思います。祭事はもちろんのこと、花火大会、盆踊り等若者の集う町づくりが大切。
- 催事を行うために地域の人々の交流が生まれ成長していくことに意義を感じます。
- 伝統を守り、受け継いでいくのは素晴らしいと思う。
- 弁天様のつっこ引きと盆踊り、神明様の春と秋の祭りなど、幼い頃から楽しみにしてきた催事なので、終わってほしくないです。
- どんどんやって、子供が集まりやすい環境をつくってあげるといいと思います。
- 大切なことだと思います。それによって自分達の住むところの縦と横のつながり、顔見知りを作ることは大事です。

6. どんな雇用の場があればいいと思いますか。(定年後含)

- 元気な高齢者を活用し、楽しく、明るい雇用の場をつくる。
- 高齢者や小さな子供たちの育児中であっても、自宅でできるような、内職的な仕事があつたら助かる人はたくさんいると思う。
- 気軽に副業ができる環境。簡易な農作業。
- 商業施設があれば良いと思う。(例・イオンモールやドン・キホーテなど) 子育て中の主婦でも気軽に働けるように、時間に自由のきく施設。

アンケート調査の文は、原文のまま記載しております。

次号へ続く



町内会だより 市柳二

多くの人が参加する町内会に

市柳第二町内会会长 菅野正直

私たちの町内会は昭和五十九年に会員数増により、一つから四町内会に分かれて活動を開始したそうです。中でも第二町内会は、会員数及び地理的にも中心部に位置しており、活動の拠点となる市柳会の地区にあります。

現在の世帯数は百八十戸を超える世帯で構成する町内会です。前任会長は十年の長い間活動され、今回区切りをつけるべく退任されました。

春の寒い早朝から周辺道路を一ヶ月に一度の間隔で、敷地内に在る琴平神社の境内・コミュニティセンターを先程の別れる前の他の町内会と共に、いつも快適に利用できるよう清掃をしつかりやつているところです。

「元気づくり」は、市の六ヶ月の指導・援助の基に、一昨年から一回一時間半で週二回のペースで実施しています。昨年度は一年五十二週の中、百回を実施したところです。少子高齢化社会が進む中、少しでも五体満足で長生きできるよう続いているところです。



元気づくりのひとこま



ころり三觀音参拝

町内会の日帰り旅行は、会津十三觀音のころり觀音を参拝し、御利益を受けようと実施されました。

町文化団体連絡協議会

力さんクラブ 山田 茂

会員も出て参りました。当会規約「カメラを通して会員の親睦を図る」をしっかりと守っています。当会の入口はいつでも開いています。

当会は平成五年、町主催力メラ講座の受講生を中心に発足、歩みは遅くともしっかりと目標を目指すとの意を込め、力さんクラブと命名。活動は月一回程の撮影会と二カ月に一回程の勉強会です。季節に相応しい被写体やイベントを考慮し、行動を決定。複数の車に分乗し、早朝スタート。県内外往復約二百キロ前後となります。撮影会は終日、特に車中での談笑が絶えず和やかな雰囲気です。

撮影写真は、後日の勉強会で講師から厳しくもユーモアのある解説があり一同納得です。

撮影写真は、町文化祭や公共施設等で年四回程掲示させて戴いています。撮影会は、山あり谷ありで重い材料を背にハードな終日です。四季の彩り、人々の表情、みな美しい風景なのです。

超高齢化社会の中で、少しでもいいきと活動出来ればと感じています。「福島社協」への「高齢者いきいき活動支援団体」の認定もいただきました。会員の平均年齢は超七十五歳、いきいきと活動することがハードに耐えることであつてはいけないと思っています。未熟なクラブですが、入賞する



講師による勉強会



撮影会（新緑の岡で）

活動報告

▼男の料理教室

3月1日(木)長沢魚店(福島市)の長沢洋子先生に魚料理をご指導いただきました。献立は、カレイの煮つけ、イワシのつみれ汁、イカの塩辛。



場所 保原中央交流館調理実習室
参加者 18名
次回開催は、6月。ハンバーグを作ります。
(社会教育部会)

場所 保原中央交流館 大会議室
参加者 48名 (地域づくり部会)



▼潤いと美しいまちづくり

リニューアルした保原体育館の玄関前に4月26日マリーゴールドとサフィニアを植えたプランターを置きました。来館される皆さんをきれいな花がお迎えします。

今後も花いっぱい運動を展開していきます。
(地域づくり部会)



5月13日(日)自然食料理研究家の本田洋子先生(よーこばっぱ)のご指導のもと、山菜料理を学びました。

山みつば、せり、桑の新芽を使い、かきあげとおひたしを作りました。調理後は、参加者全員で自然の恵みを堪能しました。

山みつば、せり、桑の新芽を使い、かきあげとおひたしを作りました。調理後は、参加者全員で自然の恵みを堪能しました。

▼作って食べて楽しもう 健康料理教室

場所 保原中央交流館調理実習室
参加者 9名 (健康福祉部会)



方言を、阿部包昭氏編集の「保原の方言集」から探してみました。

●かぎ(柿)、●さげ(酒)、●死ぐ(死ぬ)、●せでぐ(連れて行く)、●たんがぐ(持ち上げる)、●いげ(行きなさい)、●いだべが(おりますか)、●ほだが(そうか)、●等々です。

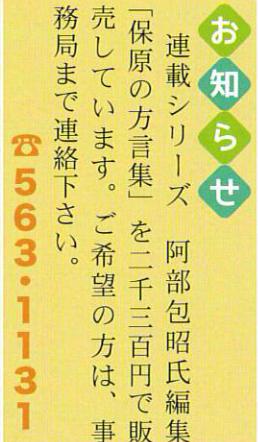
「おばんです」(今晚は)。これは尊敬語で、私の好きな方言です。最近地元の人でも使わないので残念です。また靈山町の泉原を、「いづんばら」と使っていましたが、正式名称(いづみはら)に訂正され残念に思っています。

保原の方言 その2

島田 久也

私が初めて福島に着いたのは四十年前の早朝でした。耳に入つたのは、「あんね・あさげ・ろぐず・ここさおつる」(姉ちゃん、朝六時にここで降りるよ)でした。

福島弁と最初の出逢いでした。



あとがき

平成30年度の総会も終え、地域の方々の積極的な参加により事業がスタートしています。第3号を務局まで連絡下さい。

3月25日(日)、歴史研究家の遠藤利夫先生を講師にお迎えし、「保原町の史跡、神社仏閣等の概説」について講演いただきました。「大変わかりやすく勉強になつた」「また参加したい」と次回開催を期待する声が多くありました。